

資料編

《共同研究メンバー》

龍谷大学

経済学部

松岡 憲司 経済学部 教授
辻田 素子 経済学部 准教授（責任者）
木下 信 経済学部 講師

龍谷エクステンションセンター（REC）

中山 勝一 フェロー
山川 剛史 事務部 課員

滋賀県

商工観光労働部

望月 敬之 商工政策課 副参事
三井 利起 商工政策課 主幹

《「滋賀県中小企業等実態調査」に係る共同研究の取組経緯》

年 月 日	内 容
平成23年(2011年)7月1日	調査項目について
平成23年(2011年)7月15日	調査票について
平成23年(2011年)8月3日	調査票について 調査対象企業の数、抽出方法について
平成23年(2011年)8月29日	調査票について
平成23年(2011年)10月26日	調査票発送
平成23年(2011年)11月28日	調査票の回収状況について
平成23年(2011年)12月14日	単純集計結果について クロス集計の集計項目について
平成24年(2012年)1月13日	単純集計結果について クロス集計結果について
平成24年(2012年)2月15日	クロス集計結果について 調査結果報告書について

秘

滋賀県中小企業等実態調査

調査票の記入にあたって

この調査は、滋賀県内の事業所の中から無作為に選ばせていただいた6,000事業所をお願いしております。

この調査票のご回答は、経営者または経営全体を把握しておられる方にお願いいたします。

この調査票に記入された内容については、統計的に処理し、個別企業の情報が公表・特定されたり、ご回答いただいた方や事業所が不利益を受けるようなことがないよう厳重に管理します。

なお、今後、中小企業の振興施策の企画・立案等のために更に具体的な内容を補足調査する必要がある場合や、県に対するご要望等をご記入いただいた場合については、県の職員から連絡を行うことがありますので、あらかじめご了承ください。

時期の定めのないものについては、平成23年10月1日現在の状況をご記入ください。

各設問では、あてはまる番号・記号に 印をつけ、また()内や枠内に該当する番号、具体的事項をご記入いただく内容となっております。可能な範囲でお答えください。

また、各設問は、特に記載のないものについては、事業所単位でご記入ください。ただし、企業単位での調査事項、他の事業所と区別・区分できない調査事項については、企業単位でご記入ください。

ご記入いただいた本調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、11月8日(火曜日)までに、お近くのポストへ投函してください。(切手は不要です)

この調査に関してご不明な点がございましたら、下記担当者までお問い合わせください。

滋賀県庁 商工観光労働部 商工政策課 企画調整担当 三井、望月

電話 077-528-3712 (直通)

F A X 077-528-4870

電子メール fa00@pref.shiga.lg.jp

本調査は県内の中小企業等(事業所を含む)を対象に実施しております。
以下にあてはまる方は調査対象外となりますので、大変恐れ入りますが、あてはまる番号に 印をつけて返送くださいますようお願いいたします。

1. 大企業である
2. 滋賀県外へ移転した
3. 現在休業中
4. 廃業した

秘 滋賀県中小企業等実態調査票

事業所概要	
(フリガナ) 事業所名	
事業所代表者	フリガナ 役職： _____ 氏名： _____
ご記入者氏名	フリガナ 役 職： _____ 氏名： _____ 所 属： _____ E-mail： _____
事業所所在地	〒 _____ 滋賀県 _____ 市 _____ 郡 _____ TEL： _____ - _____ - _____ FAX： _____ - _____ - _____ URL： _____
事業所の機能	(あてはまるものすべてに を記入してください。) 1.本社(事務部門) 2.販売・営業部門 3.研究開発部門 4.生産部門 5.その他(_____)
本社	《同所の場合は「同上」と記入》 住所： _____ TEL： _____ - _____ - _____ FAX： _____ - _____ - _____ 代表者 役職： _____ (フリガナ) 氏 名： _____ (_____ 歳)
事業所従業員数	_____名 〔内訳〕 正社員 _____名(うち家族役員・家族社員 _____名) パート・アルバイト _____名 派遣労働者 _____名 研修生 _____名 (うち外国人労働者 1.いる _____名 2.いない)
職種別従業員数	技術系職員(技能労務職員を含む) _____人 事務系職員 _____人
事業所従業員の平均年齢	(あてはまるもの1つに を記入してください。) 1. 39歳以下 2. 40 歳代 3. 50 歳代 4. 60 歳以上
資本金	_____万円
創業年次	西暦 _____ 年
創業の経緯	(あてはまるもの1つに を記入してください。) 1. 独自に創業 2. 中小企業から独立創業 3. 大企業から独立創業 4. 大学教員・研究者等からの独立創業 5. 分社化 6. 不明 7. その他(_____)
現在の経営者の続柄・出身	(あてはまるもの1つに を記入してください。) 1. 創業者 2. 2代目 3. 3代目以降 4. 従業員出身 5. 他社からの出向 6. その他(_____)

現在地への 進出時期	西暦 年 月
所有形態	(あてはまるもの1つに を記入してください。) 1. 土地・建物とも自社(己)所有 2. 土地は借地、建物は自社(己)所有 3. 土地・建物とも賃貸 4. その他()
業種(主要な業種と考えているもの1つに を記入してください。)	1. 食料品製造業 2. 飲料・たばこ・飼料製造業 3. 繊維工業 4. 木材・木製品製造業(家具を除く) 5. 家具・装備品製造業 6. パルプ・紙・紙加工品製造業 7. 印刷・同関連業 8. 化学工業 9. 石油製品・石炭製品製造業 10. プラスチック製品製造業 11. ゴム製品製造業 12. なめし革・同製品・毛皮製造業 13. 窯業・土石製品製造業 14. 鉄鋼業 15. 非鉄金属製造業 16. 金属製品製造業 17. はん用機械器具製造業 18. 生産用機械器具製造業 19. 業務用機械器具製造業 20. 電子部品・デバイス・電子回路製造業 21. 電気機械器具製造業 22. 情報通信機械器具製造業 23. 輸送用機械器具製造業 24. その他の製造業 25. その他()
主な製品・加工技術(具体的に記入してください。貴社の業種・業態把握の参考とします。)	()
貴社の保有技術(あてはまるもの全てに を記入してください。)	1. 設計に係る技術 2. 圧縮成形、押出成形、空気の噴射による加工、射出成形、鍛造、鋳造およびプレス加工に係る技術 3. 圧延、伸線および引抜きに係る技術 4. 研磨、裁断、切削及び表面処理に係る技術 5. 整毛及び紡績に係る技術 6. 製織、剪毛及び編成に係る技術 7. 縫製に係る技術 8. 染色に係る技術 9. 粉碎に係る技術 10. 抄紙に係る技術 11. 製版に係る技術 12. 分離に係る技術 13. 洗浄に係る技術 14. 熱処理に係る技術 15. 溶接に係る技術 16. 溶融に係る技術 17. 塗装およびめっきに係る技術 18. 精製に係る技術 19. 加水分解および電気分解に係る技術 20. 発酵に係る技術 21. 重合に係る技術 22. 真空の維持に係る技術 23. 巻取りに係る技術 24. 製造過程の管理に係る技術 25. 機械器具の修理および調整に係る技術 26. 非破壊検査および物性の測定に係る技術 27. その他()
現在地以外の主な事業所の所在地、事業所の種別、設立した年について記入してください 〔都道府県名(海外)〕〔市町村名〕	〔事業所種別(あてはまるもの全てに)〕〔設立年(西暦)〕 1. 本社 2. 販売・営業部門 3. 研究開発部門 4. 生産部門 5. その他() 年 1. 本社 2. 販売・営業部門 3. 研究開発部門 4. 生産部門 5. その他() 年 1. 本社 2. 販売・営業部門 3. 研究開発部門 4. 生産部門 5. その他() 年
今回調査対象となっている事業所を含めた貴社の事業所のうち、生産活動の中心となっている事業所を次の中から選択し、 を記入してください。	1. 調査対象事業所が生産活動の中心 2. 県内の他の事業所 3. 県外事業所 4. 海外事業所
国や県、市町、団体等による受賞、表彰歴がありましたら記入してください。	

問 1 事業活動について

(1) 生産形態について、あてはまるもの1つに を記入してください。

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 自社製品主体の製造業 | 4. 独立した加工専門業 |
| 2. 一部自社製品を製造する下請け製造 | 5. 賃加工業 |
| 3. 下請け製造（賃加工を除く） | 6. その他（ ） |

(2) 事業内容について、あてはまるものに を記入してください。また内容等についても具体的に記入してください。

自社ブランド製品の有無

- | | |
|------|--|
| 1. 有 | 具体的ブランド名（ ）
販売経路は（主なもの1つに を記入してください。）
a. 商社・問屋等経由 b. 営業部署で販売 c. ネット経由 d. 系列販社
e. その他（ ） |
| 2. 無 | |

OEM製品の有無

- | | |
|------|------|
| 1. 有 | 2. 無 |
|------|------|

高シェア製品（部品を含む）の有無

- | 1. 有 | 具体的内容 | | | | | | | | | |
|------|---|-------------------|-------|---------|-----|----------|-------------------|-----|----------|-------------------|
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>製品名</th> <th>市場占有率</th> <th>市場占有率順位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>()</td> <td>_____%程度</td> <td>国内第____位 海外第____位</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td>_____%程度</td> <td>国内第____位 海外第____位</td> </tr> </tbody> </table> | 製品名 | 市場占有率 | 市場占有率順位 | () | _____%程度 | 国内第____位 海外第____位 | () | _____%程度 | 国内第____位 海外第____位 |
| 製品名 | 市場占有率 | 市場占有率順位 | | | | | | | | |
| () | _____%程度 | 国内第____位 海外第____位 | | | | | | | | |
| () | _____%程度 | 国内第____位 海外第____位 | | | | | | | | |
| 2. 無 | | | | | | | | | | |

自社独自技術の有無

- | | |
|------|---------|
| 1. 有 | 主な技術（ ） |
| 2. 無 | |

自社の産業財産権の保有状況

	特許権		実用新案権	意匠権	商標権
保有件数	国内____件	海外____件	____件	____件	____件

(3) 企業としての「現在の強み」と「今後強化したいもの」について、次の中からあてはまるものをそれぞれ3つ以内で順位をつけて選択し、番号を（ ）に記入してください。

	1位	2位	3位
現在の強み	()	()	()
今後強化したいもの	()	()	()
1. 人材	12. 原材料・部品調達力	23. 環境対応	
2. 技術力	13. 量産能力	24. 事務効率	
3. 企画力、提案力	14. 多品種小ロット対応	25. 生産効率	
4. デザイン力(設計・外観)	15. 短納期対応(スピード)	26. 市場占有率(シェア)	
5. 情報収集力	16. 試作対応	27. 価格競争力	
6. 顧客ニーズの把握	17. 品質管理	28. 研究開発、知的財産	
7. 販売力	18. 製造(加工)精度	29. 海外展開	
8. ブランド力	19. コストパフォーマンス	30. その他	
9. 情報発信力	20. 高品質		
10. 取引先との信頼関係	21. オンリーワン技術・製品		
11. 資金力	22. 付加サービスの提供		

(4) 技術の獲得の経緯について、あてはまるものすべてに を記入してください。

1. 自社開発	4. 大学との共同開発	7. その他
2. 親会社や発注先の指導	5. 公的機関・研究所との共同開発	〔 〕
3. 取引先との共同開発	6. 異業種・同業種交流による共同開発	

問2 最近の業績について（事業所単位）

(1) 直近の決算での売上高または製品出荷額について、あてはまるもの1つに を記入してください。

1. 1千万円未満	4. 1億以上3億円未満	7. 25億以上50億円未満
2. 1千万以上3千万円未満	5. 3億以上10億円未満	8. 50億以上100億円未満
3. 3千万以上1億円未満	6. 10億以上25億円未満	9. 100億円以上

(2) 売上高または製品出荷額について、前期に比べてどのような状態ですか。あてはまるもの1つに をして下さい。

1. 大幅増加（20%以上の増加）	4. やや減少（5%以上20%未満の減少）
2. やや増加（5%以上20%未満の増加）	5. 大幅減少（20%以上の減少）
3. ほぼ横ばい（±5%未満）	

(3) (2)で「1.大幅に増加」もしくは「2.やや増加」を選択された方におたずねします。売上高の増加の主な要因と考えられるものに3つ以内で を記入してください。

1. 新製品開発	7. 営業力の強化	13. 少子化・高齢化等社会環境の変化
2. 技術革新	8. 景気変動	14. 生産拠点の海外移転
3. 市場開拓	9. 物流の合理化	15. 震災の影響
4. 納期の短縮	10. 製品の内製化	16. 節電の取組による影響
5. 事業の多角化	11. 生産設備の新設	17. その他
6. 製品の差別化	12. 同業他社の廃業	〔 〕

(4) (2)で「4.やや減少」もしくは「5.大幅に減少」を選択された方におたずねします。売上高の減少の主な要因と考えられるものに3つ以内で を記入してください

1. 製品開発の遅れ	7. 親企業の移転	13. 人材の高齢化
2. 技術力の遅れ	8. 生産設備の老朽化	14. 震災の影響
3. 市場の縮小	9. 納品先からの値下げ要請	15. 節電の取組による影響
4. 業務効率の低下	10. 仕入先からの値上げ要請	16. その他
5. 競合激化	11. 発注企業の選別強化	〔 〕
6. 景気変動	12. 営業力不足	

(5) 3期前と比較した年間売上高（製品出荷額）の変化について、あてはまるもの1つに を記入してください。

1. 大幅増加（20%以上の増加）	4. やや減少（5%以上20%未満の減少）
2. やや増加（5%以上20%未満の増加）	5. 大幅減少（20%以上の減少）
3. ほぼ横ばい（±5%未満）	

(6) 直近の決算での売上高経常利益率（経常利益額÷売上高）について、あてはまるもの1つに を記入してください。（*他の事業所と区別できない場合は企業単位で記入してください。）

1. マイナス	4. 4%以上10%未満
2. 0%以上2%未満	5. 10%以上
3. 2%以上4%未満	

(7) 直近の決算と3期前とを比べた経常損益の変化について、あてはまるもの1つに を記入してください。(*他の事業所と区別できない場合は企業単位で記入してください。)

- | | | |
|---------------|--------------|------------------|
| 1. 黒字を維持・拡大 | 3. 赤字から黒字に転換 | 5. 赤字だが損失額は縮小 |
| 2. 黒字だが利益額は減少 | 4. 黒字から赤字に転落 | 6. 引き続き赤字で損失額が拡大 |

(8) 過去3年以内に行った設備投資額の合計について、あてはまるもの1つに を記入してください。

- | | | |
|--------------------|--------------------|----------------|
| 1. 1,000万円未満 | 3. 3,000~5,000万円未満 | 5. 1億円以上 |
| 2. 1,000~3,000万円未満 | 4. 5,000万円~1億円未満 | 6. 設備投資は行っていない |

(9) 従業員数の推移は現在(平成23年10月)と比べてどのような状態ですか。 から のそれぞれについて、あてはまるもの1つに を記入してください。

- | | | | | | | | |
|---------------|---|----|----|----|----|----|---|
| 10年前(平成13年)より | (| 1. | 2. | 3. | 4. | 5. |) |
| 5年前(平成18年)より | (| 1. | 2. | 3. | 4. | 5. |) |
| 1年前(平成22年)より | (| 1. | 2. | 3. | 4. | 5. |) |

〔番号の説明〕

- | | | |
|-------------------|-----------------------|-------------|
| 1. 大幅に増加(20%以上増加) | 2. やや増加(5%以上20%未満の増加) | 3. 横ばい(±5%) |
| 4. 大幅に減少(20%以上減少) | 5. やや減少(5%以上20%未満の減少) | |

(10) リーマンショック以降における経済の急速な悪化への対応について、あてはまるもの全てに を記入してください。

- | | | |
|--------------|-------------------|---------------------------|
| 1. 公的融資制度の利用 | 7. 不採算部門から撤退 | 13. 管理部門の外部委託 |
| 2. 設備の稼働停止 | 8. 経営の多角化(新分野進出等) | 14. 企業間連携(合併、協業、共同購入等)の強化 |
| 3. 人件費の削減 | 9. 従業員の再教育期間として活用 | 15. その他 |
| 4. 従業員の削減 | 10. ワークシェアリング | () |
| 5. 経費節減 | 11. 雇用調整助成金の活用 | |
| 6. 新たな販路開拓 | 12. 研究開発・企画の体制強化 | 16. 特になし |

問3 取引関係について

(1) 主要販売先(納入先)上位3者の属性を以下の中から選び、あてはまる番号を()に記入してください。

- | | | |
|------------------|------------|----------|
| 第1位() | 第2位() | 第3位() |
| 1. 系列取引の大手メーカー | 5. 卸売業・代理店 | 9. 直接消費者 |
| 2. 系列取引のない大手メーカー | 6. 小売業 | 10. その他 |
| 3. 中堅メーカー | 7. サービス業 | 〔) |
| 4. 中小・零細メーカー | 8. 官公庁・大学等 | |

(2) 売上高上位1社の販売先への売上依存度について、あてはまるもの1つに を記入してください。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 10%未満 | 3. 20%以上40%未満 | 5. 60%以上80%未満 |
| 2. 10%以上20%未満 | 4. 40%以上60%未満 | 6. 80%以上 |

(3) 貴社と主要販売先上位1社との関係について、あてはまるもの全てに を記入してください。

価格

- | | | |
|---------------|----------------|---------|
| 1. 主として自社が決める | 2. 主として得意先が決める | 3. 交渉次第 |
|---------------|----------------|---------|

納期

- | | | |
|---------------|----------------|---------|
| 1. 主として自社が決める | 2. 主として得意先が決める | 3. 交渉次第 |
|---------------|----------------|---------|

- (4) 貴社（事業所）で製造（生産）されている製品の販売先（納入先）について、主な取引地域を上位3カ所（以内）選び、その地域のおおよその比率を次の表に記入してください。

地域											
	滋賀県	大阪府	京都府	兵庫県	その他近畿	東海	北信越	関東	東北北海道	中国四国九州沖縄	海外
比率	___割	___割	___割	___割	___割	___割	___割	___割	___割	___割	___割

その他近畿圏：奈良県、和歌山県

東海：三重県、愛知県、岐阜県、静岡県

北信越：福井県、石川県、富山県、長野県、新潟県

（記入例）

たとえば、貴社（事業所）における、ある年度の製品の販売額が1億円であったとします。その販売先が上位より 滋賀県内地域で4,000万円、大阪府地域で2,500万円、京都府地域で1,000万円であった場合、に4割、に2.5割、に1割と記入してください。

(5)(6)についても同じ要領でご記入ください。

なお、この比率は厳密なものではなく、おおよその数値を記入していただければ結構です。

- (5) 貴社（事業所）で製造（生産）されている製品の原材料・汎用部品の購入（入手）先について、主な取引地域を上位3カ所（以内）選び、取引全体に占めるその地域のおおよその比率を次の表に記入してください。

地域											
	滋賀県	大阪府	京都府	兵庫県	その他近畿	東海	北信越	関東	東北北海道	中国四国九州沖縄	海外
比率	___割	___割	___割	___割	___割	___割	___割	___割	___割	___割	___割

- (6) 加工外注の利用（汎用品の購入は含まない。）の有無について、どちらかを選び、印を記入してください。

1.利用している

2.利用していない

- (6-1) (6)で「1.利用している」とご回答の場合、主な外注先地域を上位3カ所（以内）選び、その地域およびその比率を次の表に記入してください。

地域											
	滋賀県	大阪府	京都府	兵庫県	その他近畿	東海	北信越	関東	東北北海道	中国四国九州沖縄	海外
比率	___割	___割	___割	___割	___割	___割	___割	___割	___割	___割	___割

- (7) 製品の販売先(納入先)、原材料(部品)の購入先(入手先)、外注先として海外との取引がある場合（国内の商社等経由を含む）は、取引額上位3カ国(以内)の国名を()に記入してください。

販売先（納入先）	1位（ ）	2位（ ）	3位（ ）
購入先（入手先）	1位（ ）	2位（ ）	3位（ ）
外注先	1位（ ）	2位（ ）	3位（ ）

- (8) 過去1年間の新規取引のきっかけについて、あてはまる番号を()に記入してください。（多いものから順に3つ以内）

⑦販売先（納入先）	1位（ ）	2位（ ）	3位（ ）
⑧購入先（入手先）	1位（ ）	2位（ ）	3位（ ）
1.取引先からの紹介	6.展示会、マッチング会		
2.営業開拓	7.産業支援機関の紹介		
3.ホームページなどのネット関連	8.その他		
4.異業種交流	()		
5.マスコミ等への露出から	9.過去1年間で新規取引先はない		

問4 研究開発について

(1) 研究開発の取組状況、形態について、あてはまる番号すべてに をしてください。

1. 自主開発 2. 共同開発 3. 委託 4. 行っていない

→「4.」に の場合は問5へ進んでください。

(2) 研究開発体制について、あてはまるもの1つに をし、人数を()に記入してください。

1. 社内に専門のセクションがある 専門セクションの人数()人
 2. 専門のセクションはないが専任担当者がある 専任担当者の人数()人
 3. 他のセクションの担当者が兼務している 兼務者の人数()人
 4. 担当者は常設しておらず必要に応じて対応している
 5. その他()

(3) 年間の研究開発費は売上高に比較してどの程度かけておられますか。

あてはまるもの1つに を記入してください。(売上高対比%)

1. 5%未満 3. 10~15%未満 5. 20%以上
 2. 5~10%未満 4. 15~20%未満 6. 特に計上していない

問5 産学官連携について

(1) 大学や滋賀県工業技術総合センター等公設試験研究機関との連携の実績および関心について、あてはまる番号をそれぞれ()に記入してください。

<p>⑦大学との連携 ()</p> <p>1. 現在、行っている</p> <p>2. 現在、行っていないが、過去には行ったことがある</p> <p>3. 行っていないが、関心がある (3a.連携先を検討中 3b.具体的には検討していない)</p> <p>4. 行っておらず、関心もない</p>	<p>①公設試験研究機関との連携 ()</p> <p>⑦と①の両方に「3a.」「3b.」「4.」を記入された場合は、9ページの問5(4)へ進んでください。</p>
---	--

(2) (1)の「⑦大学との連携」、「①公設試験研究機関との連携」で「1.現在、行っている」または「2.現在、行っていないが、過去には行ったことがある」を選択された方におたずねします。

連携のきっかけについて、それぞれ主なものを1つ選択し、番号を()に記入してください。

<p>⑦大学との連携 ()</p> <p>1. 個人的な人脈を通じて</p> <p>2. 大学、短大等を通じて</p> <p>3. 取引先を通じて</p> <p>4. 異業種等の交流会・研究会活動を通じて</p> <p>5. 学会活動を通じて</p> <p>6. 業界団体、組合等を通じて</p>	<p>①公設試験研究機関との連携 ()</p> <p>7. 公的支援機関(商工会議所、商工会、中小企業団体中央会、滋賀県産業支援プラザ等)を通じて</p> <p>8. 県(公設試験研究機関含む)、市町を通じて</p> <p>9. その他 ()</p>
---	---

連携の形態について、それぞれ主なものを1つ選択し、番号を()に記入してください。

<p>⑦大学との連携 ()</p> <p>1. 共同研究 3. 技術相談・指導</p> <p>2. 委託研究 4. デザイン相談・指導</p>	<p>①公設試験研究機関との連携 ()</p> <p>5. 依頼試験・検査 7. その他</p> <p>6. 情報交流 ()</p>
--	---

主な連携先大学について、 を記入してください。(複数選択可)

1. 滋賀大学	7. 立命館大学	13. 京都大学
2. 滋賀医科大学	8. 聖泉大学	14. 京都工芸繊維大学
3. 滋賀県立大学	9. 長浜バイオ大学	15. 同志社大学
4. 龍谷大学	10. びわこ学院大学	16. 京都産業大学
5. 成安造形大学	11. 滋賀短期大学	17. その他
6. びわこ成蹊スポーツ大学	12. 滋賀文教短期大学	()

主な連携先公設試験研究機関について、 を記入してください。(複数選択可)

1. 滋賀県工業技術総合センター(信楽窯業技術試験場を含む)	
2. 滋賀県東北部工業技術センター	3. その他()

- (3) (1)「㊦大学との連携」、「㊧公設試験研究機関との連携」のいずれかで「1.現在、行っている」または「2.現在、行っていないが、過去には行ったことがある」を選択された方におたずねします。産学官連携活動を行った結果、成果がありましたか(現在行っている場合はその見込み)。成果があった場合は、そのレベルとしてあてはまるものをそれぞれ3つ以内で選択し、番号を()に記入してください。

㊦大学との連携()()()	㊧公設試験研究機関との連携()()()
1. 製品の開発に成功した	5. 関連情報の入手が容易になった
2. 技術レベルの向上、ノウハウの蓄積につながった	6. その他
3. 社員の育成につながった	()
4. 人的ネットワークが広がった	7. 成果がなかった

- (4) (1)「㊦大学との連携」、「㊧公設試験研究機関との連携」のいずれかで「3.行っていないが、関心がある」、「4.行っておらず、関心もない」を選択された方におたずねします。産学官連携活動を現在行っていない理由は何ですか。あてはまるものをそれぞれ3つ以内で選択し、番号を()に記入してください。

㊦大学との連携()()()	㊧公設試験研究機関との連携()()()
1. どこに行ったらいいかわからないから	6. 自社の技術を知られたくないから
2. 敷居が高いから	7. 必要性を感じないから
3. 成果が出るまでに時間がかかるから	8. どのような連携ができるのかわからないから
4. 費用がかかるから	9. その他
5. 求めている技術や研究内容と合致しなかったから	()

問6 企業間連携等(共同事業、異分野事業への進出、異業種交流、農商工連携等)について

- (1) 他の企業等との連携の実績および関心について、あてはまるもの1つを選択し、番号を()に記入して下さい。

同業企業との連携	()	}
異分野、異業種企業との連携	()	
農林漁業者との連携	()	
その他()との連携	()	
1. 現在、行っている		}
2. 現在、行っていないが、過去には行ったことがある		
3. 行っていないが、関心がある (3a. 連携先を検討中 3b. 具体的には検討していない)		
4. 行っておらず、関心もない		

から のすべてで「3a.」「3b.」「4.」のいずれかを記入された場合は、11ページの問6(6)へ進んでください。

(2) (1)で「1.現在、行っている」または「2.現在、行っていないが、過去には行ったことがある」を選択された方におたずねします。連携のきっかけについて、あてはまるもの1つを選択し、番号を()に記入して下さい。

同業企業との連携 ()	農林漁業者との連携 ()
異分野、異業種企業との連携 ()	その他の連携 ()
1. 個人的な人脈を通じて	7. 公的支援機関(商工会議所、商工会、中小企業団体中央会、滋賀県産業支援プラザ等)を通じて
2. 大学、短大等を通じて	8. 県(公設試験研究機関含む)、市町を通じて
3. 取引先を通じて	9. その他
4. 異業種等の交流会・研究会活動を通じて	()
5. 学会活動を通じて	
6. 業界団体、組合等を通じて	

(3) (1)で「1.現在、行っている」または「2.現在、行っていないが、過去には行ったことがある」を選択された方におたずねします。構成メンバーの所在地について、次の中からあてはまるものすべてに を記入してください。

同業企業との連携	1.同一市町内	2.県内	3.県外(主に)
異分野、異業種企業との連携	1.同一市町内	2.県内	3.県外(主に)
農林漁業者との連携	1.同一市町内	2.県内	3.県外(主に)
その他の連携	1.同一市町内	2.県内	3.県外(主に)

(4) (1)で「1.現在、行っている」または「2.現在、行っていないが、過去には行ったことがある」を選択された方におたずねします。そのグループや仲間では、どのような活動を行っていますか(行っていましたか)。また、どのような活動をしたいですか。あてはまるものを3つ以内で選択し、番号を()へ記入してください。

	これまでの活動	今後取り組みたい活動
同業企業との連携	()()()	()()()
異分野、異業種企業との連携	()()()	()()()
農林漁業者との連携	()()()	()()()
その他の連携	()()()	()()()
1. 新製品の共同研究・開発	7. 共同販売	
2. 製品、技術等に関する情報交換	8. 共同での人材育成	
3. マーケットに関する情報交換	9. 共同でのイベント実施	
4. 共同受注	10. 共同P R	
5. 共同企画・設計・デザイン	11. その他	
6. 共同製造	()	

(4-1) (1)で「1.現在、行っている」または「2.現在、行っていないが、過去には行ったことがある」を選択された方におたずねします。そのグループや仲間による活動を通じて、成果がありましたか。成果があった場合は、そのレベルとしてあてはまるものを3つ以内で選択し、番号を()へ記入してください。

同業企業との連携 ()	農林漁業者との連携 ()
異分野、異業種企業との連携 ()	その他の連携 ()
1. 製品の開発に成功した	5. 関連情報の入手が容易になった
2. 技術レベルの向上、ノウハウの蓄積につながった	6. その他
3. 社員の育成につながった	()
4. 人的ネットワークが広がった	7. 成果がなかった

- (5) (1)で「1.現在、行っている」または「2.現在、行っていないが、過去には行ったことがある」を選択された方におたずねします。企業連携（共同事業）を行う場合、どのような点が課題となっていますか。あてはまるものを3つ以内で選択し、番号を()へ記入してください。

同業企業との連携	()	()	()
異分野、異業種企業との連携	()	()	()
農林漁業者との連携	()	()	()
その他の連携	()	()	()
1. 活動資金の確保	4. 販路の開拓	7. 構成メンバー間の利害調整	
2. 活動に関わる人材の確保	5. 経営意識の多様性	8. その他	
3. 活動時間の確保	6. リーダー及び運営体制の確保	()	

- (6) (1)で「3.行っていないが、関心がある」、「4.行っておらず、関心もない」を選択された方におたずねします。企業連携等を現在行っていない主な理由は何ですか。あてはまるものを3つ以内で選択し、番号を()へ記入してください。

同業企業との連携	()	()	()
異分野、異業種企業との連携	()	()	()
農林漁業者との連携	()	()	()
その他の連携	()	()	()
1. どこに行ったらいいかわからないから	5. 自社の技術を知られたくないから		
2. 敷居が高いから	6. 必要性を感じないから		
3. 費用がかかるから	7. その他		
4. 求めているものと合致しなかったから	()		

問7 商工関係団体等での活動について

- (1) 加入されている（していた）団体について、あてはまるもの全てに を記入してください。

1. 商工会議所・商工会	
2. 同業者の団体（協同組合、任意団体等）	
3. 商店街振興組合、商店街組合（任意団体）等	
4. 滋賀経済同友会	
5. (社)滋賀経済産業協会	
6. 観光関係団体	
7. まちづくり協議会、自治会等地域のコミュニティ団体	
8. その他団体（主な団体名を3つ以内で記入してください）	
()	()
()	()
()	()
6. 加入したことはない	
(理由)	()

→「6.」に の場合は、12ページの問8へ進んでください。

- (2) (1)の団体での活動を通じて得られた効果について、次の中からあてはまるものに3つ以内で を記入してください。

1. 製品の開発に成功した	7. 貴社（事業所）に対する地域住民の理解につながった
2. 技術レベルの向上、ノウハウの蓄積につながった	8. 従業員等が周辺住民と交流するきっかけとなった
3. 社員の育成につながった	9. その他
4. 人的ネットワークが広がった	
5. 関連情報の入手が容易になった	
6. 地域活動や社会貢献活動に積極的に取り組むようになった	

問 8 競争力向上に向けての取組みについて

(1) 貴社の主要な製品・技術に最もよくあてはまるライフサイクル上の段階について、あてはまるもの1つに を記入してください。

1. 開発・導入期	2. 成長期	3. 成熟期	4. 衰退期
-----------	--------	--------	--------

(2) 貴社が新規分野として取り組みたいと考える事業分野について、あてはまるもの全てに を記入してください。

1. 水環境ビジネス関連	8. 航空機・宇宙関連
2. 環境関連全般	9. スポーツ・健康・医療(介護分野含む)関連
3. 半導体関連	10. バイオ関連
4. 新エネルギー、省エネルギー関連	11. 農商工連携関連
5. デジタル家電関連	12. 観光、まちづくり、にぎわいづくり分野
6. ナノテクノロジー関連	13. その他()
7. ロボット関連	14. 特になし

問 9 海外への事業展開の状況

(1) 貴社は海外へ事業展開していますか。あてはまるものに をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

→「2.」に の場合は、問9(3)へ進んでください。

(2) (1)で「1.はい」を選択された方におたずねします。海外展開している国名、当該地域で展開した最初の年を()へ具体的に記入し、展開の形態としてあてはまる番号に を記入してください。(重要と考えている国3カ国以内)

国・地域		()	()	()	(中国)
当該地域に最初に展開した年		()年	()年	()年	(2009)年
機 能 と 形 態	本社機能	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.
	販売・営業部門	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 3.
	生産部門	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.	2. 3.
	研究開発部門	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.
その他()		1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.

記入例

〔展開の形態の番号 1. 2. 3.の説明〕

- 1. 拠点進出(合併を含む。)
- 2. 海外企業との業務提携(代理店契約、加工委託等)
- 3. その他()

〔記入例の説明〕

2009年から中国へ販売・営業部門と生産部門を順次展開し、販売・営業部門については拠点は置かず海外企業と代理店契約を締結し、生産部門については独自の拠点(合併を含む)を設置した場合の例。

(3) (1)で「2.いいえ」を選択された方におたずねします。今後5年以内に海外展開の意向はありますか。最も可能性が高いと考えるもの1つに を記入してください。

1. はい	海外展開の形態 a. 海外企業との業務提携 b. 拠点進出 c. その他()
2. いいえ	海外展開しない理由 ()
3. 未定	

「2.」「3.」のいずれかに を記入された場合は、13ページの問9(6)へ進んでください。

- (4) (1)または(3)で「はい」を選択された方におたずねします。その海外展開（予定も含む）の理由について、あてはまるものを記入してください。

1. 優秀な技術者や労働者の活用	4. 親会社・発注先の進出に伴
2. 安価な技術者や労働者の活用	5. その他
3. 市場開拓	()

- (5) (1)または(3)で「はい」を選択された方におたずねします。

今後の予定として、国内にはどの部門を残す予定ですか、あてはまるものすべてに記入してください。

1. 本社機能	3. 研究開発部門	5. その他()
2. 販売・営業部門	4. 生産部門	6. 国内には残さない

- (6) 海外展開にあたっての相談先について、あてはまるものすべてに記入してください。

1. 取引先	4. コンサルタント	7. その他
2. 金融機関	5. 県庁、市役所、町役場	()
3. 商社	6. 公的機関()	8. 相談していない

問10 立地について

- (1) 滋賀県内に立地している メリット、 デメリットについて、次の中からあてはまるものをそれぞれ3つ以内で選択し、番号を()に記入してください。

メリット()()	デメリット()()
1. 原材料の調達	8. 情報通信基盤
2. 受注先との距離	9. 地下水の利用
3. 外注先との距離	10. 事業用地の確保
4. 地価、家賃	11. 従業員の確保
5. 公共交通機関の便	12. 豊かな自然環境
6. 産業支援機関	13. 自然災害が少ない
7. 学術研究機関	14. 「滋賀」の地域のイメージ
	15. 情報の入手
	16. 長年のつきあい
	17. 道路交通事情
	18. 地方税の負担
	19. 他社との競合
	20. その他
	()

- (2) 今後の生産拠点について、どのようにお考えですか。あてはまるもの1つに記入してください。

1. 現在地または県内で規模拡張する	4. 県外に移転する	7. 未定・分からない
2. 現在地または県内で規模は現状維持	5. 業種転換の予定	
3. 現在地または県内で規模縮小する	6. 廃業する	

問11 後継者問題

- (1) 後継者について、あてはまるもの1つに記入してください。

1. 後継者は既に決まっている。(親族)	}
2. 後継者は既に決まっている。(非親族)	
3. 事業継承する予定だが、具体的には決まっていない。	
4. 事業継承したいが、後継者がいない。(課題となっている)	
5. 事業継承については未定・分からない。	

「1.」「2.」「3.」のいずれかに記入された場合は、14ページの問12へ進んでください。

- (2) (1)で「4. 事業継承したいが、後継者がいない」もしくは「5. 事業継承については未定・分からない」を選択された方におたずねします。

今後の事業承継について、あてはまるもの1つに記入してください。

1. まだ、決める時期ではない	3. 廃業する	5. その他
2. 場合によっては第三者への事業譲渡	4. 転業する	()

問12 人材の確保・育成

(1) 採用に関する課題について、あてはまるもの全てに を記入してください。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 優秀な新卒者の採用ができない | 5. 必要とする人材の数が確保できない |
| 2. 営業等の実務経験のある人が採用できない | 6. その他 () |
| 3. 高度な技術知識を持つ人が採用できない | |
| 4. 必要とする技能を持つ人が採用できない | 7. 特になし |

(2) 貴社の人材の充実させたい能力について、あてはまるもの全てに を記入してください。

- | | | |
|--------------------|-------------------------|-------------|
| 1. 製品開発能力 | 8. 品質管理・検査の知識・技能 | 14. 営業力 |
| 2. デザイン力 | 9. 生産工程合理化能力 | 15. その他 () |
| 3. 設計能力 (CAD の活用等) | 10. 保有技術の事業化能力 (技術経営能力) | |
| 4. 基本的機械操作能力 | 11. 大学卒業程度の科学技術知識 | |
| 5. 高度熟練技能 | 12. 統率力・リーダーシップ | |
| 6. IT・情報処理スキル | 13. マネジメント能力 | 16. 特になし |
| 7. 設備保全能力 | | |

(3) 貴社の人材育成の手法について、あてはまるもの全てに を記入してください。

- | | | |
|-----------------|--------------|--------------|
| 1. OJT (現場での指導) | 4. 業界団体主催の研修 | 7. 他社への派遣 |
| 2. 社内研修 | 5. 民間企業主催の研修 | 8. その他 () |
| 3. 公的機関主催の研修 | 6. 自己啓発・自己研鑽 | 9. 特に何もしていない |

(4) 人材育成上の問題点について、あてはまるもの全てに を記入してください。

- | | | |
|----------------|---------------|------------|
| 1. 時間がとれない | 5. 技術の陳腐化 | 9. その他 () |
| 2. 資金がない | 6. 人材が定着しない | |
| 3. 対象となる人材がいない | 7. 対象人材に意欲がない | |
| 4. 育成方法がわからない | 8. 必要性を感じない | 10. 特になし |

(5) 熟練技能者の退職 (技能継承の問題) への今後の貴社の対応について、あてはまるもの全てに を記入してください。

- | | | |
|-----------------|----------------|---------------|
| 1. 若手の訓練 | 4. 技能のマニュアル化 | 7. 教育訓練機関の活用 |
| 2. 雇用延長・再雇用 | 5. NC、MC機械等の活用 | 8. その他 () |
| 3. 技能のある人材を中途採用 | 6. 知識のデータベース化 | 9. 何もしない・必要なし |

(5-1) (5) で1.から8. を選択された方へおたずねします。対応の結果、熟練技能者の技能継承の問題はどうなると考えておられますか。あてはまるもの1つに を記入してください。

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 解決できる | 3. 解決できる見込みはない |
| 2. 概ね解決できる | 4. わからない |

問13 資金調達について

(1) 借入れする際の条件について、あてはまるもの全てに を記入してください。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 経営者の本人保証を提供 | 4. 公的信用保証を提供 |
| 2. 物的担保を提供 | 5. 1~4のいずれも提供していない |
| 3. 第三者保証 (公的信用保証を除く) を提供 | |

(2) 最近1年間の借入申込みについて、最も多かった対応はどれでしたか。あてはまるもの1つに を記入してください。

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 借入申込みを拒絶または申込額を減額 | 5. 申込額以上の貸付金額をメインバンクが提案 |
| 2. 借入条件は厳しくなったが申込額どおり借入れ | 6. 既存の融資の条件変更をした |
| 3. 借入条件の変更なしで申込額どおり借入れ | 7. 最近1年間は借入申込を行っていない |
| 4. 借入条件は緩和され申込額どおり借入れ | |

問14 東日本大震災(節電を含む)の業績への影響と対応策について

東日本大震災(節電を含む)の業績(利益)への影響と対応策について、次の から へ記入してください。

影響の有無 (1. 悪影響 2. 影響なし 3. 好影響 4. わからない) を1つ記入
理由・課題 ()
対応策(予定含む) ()

問15 B C P (事業継続計画)について

(1) 予期せぬ非常事態に対処するために事前に作成する行動計画を「BCP」といいますが、貴社(事業所)におけるBCPの作成状況について、あてはまるもの1つに を記入してください。

1. 作成済み 2. 作成中 3. 作成を検討中 4. 作成する予定なし 5. わからない

→ 問16へ

(2) (1)において「1. 作成済み」、「2. 作成中」、「3. 作成を検討中」を選択された方におたずねします。BCPを作成する上での課題について、あてはまるもの全てに を記入してください。

1. コスト負担増大 3. 人材不足 5. その他
2. 作成方法がよくわからない 4. 作成に時間がかかる ()

(3) (1)において「1. 作成済み」、「2. 作成中」、「3. 作成を検討中」を選択された方におたずねします。BCPの作成を必要と考えるようになった理由、時期について、あてはまるものすべてに を記入してください。

1. 取引先からの要請 (1a. 東日本大震災発生以前 1b. 東日本大震災発生以降)
2. 自発的な取組 (2a. 東日本大震災発生以前 2b. 東日本大震災発生以降)
3. その他()

問16 最近の円高による業績への影響と対応策について

最近の円高による業績(利益)への影響と対応策について、これまで(平成23年10月以前)の状況と 今後の見込みを記入してください。

これまでの状況 (1. 悪影響 2. 影響なし 3. 好影響 4. わからない) を1つ記入
⑦理由・課題()
⑧これまでの対応策()
今後の見込み (1. 悪影響 2. 影響なし 3. 好影響 4. わからない) を1つ記入
⑦理由・課題()
⑧今後の対応策()

問17 今後の経営について

(1) 今後3年程度を見据えて貴社が新たに取組む意向のあるものについて、あてはまるもの全てに を記入してください。

1. 経営戦略・経営方針の見直し	12. 新エネルギー、医療・健康、環境分野などの有力成長分野への参入
2. 事業規模の拡大	13. 小売・卸売・サービス業等異業種への参入
3. 事業規模の縮小・撤退	14. ニッチ市場の開拓
4. 積極的な人材採用	15. 原材料、仕入先の見直し
5. 技能者の多能工化等スキル向上	16. 職場環境の整備(5S活動等)
6. 人員削減の推進	17. 公的支援制度の活用
7. 後継者の確保	18. 債務の削減
8. M & Aの活用	19. C S R、地域貢献
9. 新技術の開発	(具体的内容 :)
10. 生産設備の導入・更新	20. その他 ()
11. 作業工程の見直し	

(2) 経営戦略、経営方針の立て方について、あてはまるものに を記入してください。

- | |
|--|
| 1. 経営者が独自に決定
2. 社内の企画部門やプロジェクトチームなどが原案をつくり、経営者が決定
3. 経営コンサルタント等専門家の意見をもとに経営者が決定
4. その他 ()
5. 必要と考えているが、どのように立てたらよいかわからない
6. 不要 |
|--|

(3) 家訓、社是、社訓、経営理念等に相当するものはありますか。あてはまるものに を記入してください。

- | | | |
|----------------|-----------------------|-------|
| 1. 明文化されたものがある | 2. 明文化はされていないが口伝としてある | 3. ない |
|----------------|-----------------------|-------|

(4) (3)で「1.明文化されたものがある」、「2.明文化はされていないが口伝としてある」と答えられた方へお尋ねします。それはどのような内容でしょうか。具体的にお書きください。

(5) 近江商人の代表的な経営理念として、当事者の売り手と買い手だけでなく、その取引が社会全体の幸福につながるものでなければならないという意味での、「売り手よし、買い手よし、世間よし」という「三方よし」の精神が伝えられていますが、これについてどう考えますか。あてはまるもの1つに を記入してください。

- | | | | |
|-------------|------------|---------------|--------------|
| 1. 実践に努めている | 2. 意識している | 3. あまり意識していない | 4. 全く意識していない |
| 5. 知らなかった | 6. その他 () | | |

問18 公的支援制度の利用

滋賀県や国、市町、商工会議所、商工会、中小企業団体中央会、滋賀県産業支援プラザ等が実施している公的支援制度のうち、 これまでに利用したもの、および、 今後特に利用したいと考えるものについて、それぞれ次の中から選択し、番号を()に記入してください。

- | |
|--|
| これまでに利用したもの(全て選択)()
今後特に利用したいと考えるもの(1つ選択)() |
| 1. 金融支援(制度融資、債務保証等) 2. 補助金・助成金 3. 専門家相談、専門家派遣
4. 経営診断、経営分析 5. 研修会、交流会 6. 設備・機械の貸与・リース
7. その他 () |

問19 滋賀県の中小企業施策等に関するご要望、ご意見、その他貴社のPRなどご自由にお書きください。

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

秘

滋賀県中小企業等実態調査

調査票の記入にあたって

この調査は、滋賀県内の事業所の中から無作為に選ばせていただいた6,000事業所をお願いしております。

この調査票のご回答は、経営者または経営全体を把握しておられる方にお願いいたします。

この調査票に記入された内容については、統計的に処理し、個別企業の情報が公表・特定されたり、ご回答いただいた方や事業所が不利益を受けるようなことがないよう厳重に管理します。

なお、今後、中小企業の振興施策の企画・立案等のために更に具体的な内容を補足調査する必要がある場合や、県に対するご要望等をご記入いただいた場合については、県の職員から連絡を行うことがありますので、あらかじめご了承ください。

時期の定めのないものについては、平成23年10月1日現在の状況をご記入ください。

各設問では、あてはまる番号・記号に 印をつけ、また()内や枠内に該当する番号、具体的事項をご記入いただく内容となっております。可能な範囲でお答えください。

また、各設問は、特に記載のないものについては、事業所単位でご記入ください。ただし、企業単位での調査事項、他の事業所と区別・区分できない調査事項については、企業単位でご記入ください。

ご記入いただいた本調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、11月8日(火曜日)までに、お近くのポストへ投函してください。(切手は不要です)

この調査に関してご不明な点がございましたら、下記担当者までお問い合わせください。

滋賀県庁 商工観光労働部 商工政策課 企画調整担当 三井、望月

電話 077-528-3712 (直通)

F A X 077-528-4870

電子メール fa00@pref.shiga.lg.jp

本調査は県内の中小企業等(事業所を含む)を対象に実施しております。
以下にあてはまる方は調査対象外となりますので、大変恐れ入りますが、あてはまる番号に 印をつけて返送くださいますようお願いいたします。

1. 大企業である
2. 滋賀県外へ移転した
3. 現在休業中
4. 廃業した

秘 滋賀県中小企業等実態調査票

事業所概要	
(フリガナ) 事業所名	
事業所代表者	フリガナ 役職： _____ 氏名： _____
ご記入者氏名	フリガナ 役 職： _____ 氏名： _____ 所 属： _____ E-mail： _____
事業所所在地	〒 _____ - _____ 滋賀県 _____ 市 _____ 郡 TEL： _____ - _____ - _____ FAX： _____ - _____ - _____ URL： _____
事業所の機能	(あてはまるもの全てに を記入してください。) 1.本社(事務部門) 2.販売・営業部門 3.研究開発部門 4.生産部門 5.サービス部門 6.工事・現地作業部門 7.その他(_____)
本社	《同所の場合は「同上」と記入》 住所： _____ TEL： _____ - _____ - _____ FAX： _____ - _____ - _____ 代表者 役職： _____ (フリガナ) 氏 名： _____ (_____ 歳)
事業所従業員数	_____名 〔内訳〕 正社員 _____名(うち家族役員・家族社員 _____名) パート・アルバイト _____名(日々雇用を含む) 派遣労働者 _____名 研修生 _____名 (うち外国人労働者 1.いる _____名 2.いない)
職種別従業員数	技術系職員(技能労務職員を含む) _____人 事務系職員 _____人
事業所従業員の平均年齢	(あてはまるもの1つに を記入してください。) 1. 39歳以下 2. 40 歳代 3. 50 歳代 4. 60 歳以上
資本金	(_____)万円
創業年次	西暦 _____ 年
創業の経緯	(あてはまるもの1つに を記入してください。) 1. 独自に創業 2. 中小企業から独立創業 3. 大企業から独立創業 4. 大学教員・研究者等から独立創業 5. 分社化 6. 不明 7. その他(_____)

問 1 事業活動について

- (1) 事業内容について、あてはまるものに を記入してください。また内容等についても具体的に記入してください。

自社ブランド製品、商品の有無

1. 有	具体的ブランド・商品名() 販売経路は(主なものを1つに を記入してください。) a. 商社・問屋等経由 b. 営業部署で販売 c. ネット経由 d. 系列販売 e. その他()
2. 無	

自社独自技術、サービス、ビジネスモデルの有無

1. 有	主なもの()
2. 無	

自社の産業財産権の保有状況

	特許権		実用新案権	意匠権	商標権
保有件数	国内 件	海外 件	件	件	件

- (2) 企業としての「現在の強み」と「今後強化したいもの」について、次の中からあてはまるものをそれぞれ3つ以内で順位をつけて選択し、番号を()に記入してください。

	1位	2位	3位
現在の強み	()	()	()
今後強化したいもの	()	()	()
1. 人材	10. 取引先との信頼関係	19. 価格競争力	
2. 技術力	11. 資金力	20. コストパフォーマンス	
3. 企画力、提案力	12. 原材料・部品調達力	21. 市場占有率(シェア)	
4. デザイン力(設計・外観)	13. 高品質	22. 事務効率	
5. 情報収集力	14. オンリーワン商品・技術	23. 環境対応	
6. 顧客ニーズの把握	15. 品質管理	24. 海外展開	
7. 販売力	16. 作業効率	25. 研究開発、知的財産	
8. ブランド力	17. 生産効率	26. その他	
9. 情報発信力	18. 付加サービスの提供	()	

- (3) 事業に必要な知識、技術、経験、ノウハウ等の獲得経緯について、あてはまるもの全てに を記入してください。

1. 独自に開発・修得	4. 大学との共同開発	7. その他
2. 親会社や発注先の指導	5. 公的機関・研究所との共同開発	()
3. 取引先との共同開発	6. 異業種・同業種交流による共同開発	

問 2 最近の業績について(事業所単位)

- (1) 直近の決算での売上高について、あてはまるもの1つに を記入してください。

1. 1千万円未満	4. 1億以上3億円未満	7. 25億以上50億円未満
2. 1千万以上3千万円未満	5. 3億以上10億円未満	8. 50億以上100億円未満
3. 3千万以上1億円未満	6. 10億以上25億円未満	9. 100億円以上

- (1-1) 民間からの受注と、国・県・市町等公共機関からの受注の比率を記入してください。

民間 割 / 公共 割 (金額ベースとし、合計が10割となるよう整数で記入。)

(1-2) 元請工事と下請工事の比率を記入してください。

元請 _____ 割 / 下請 _____ 割 (金額ベースとし、合計が10割となるよう整数で記入。)

(2) 売上高について、前期に比べてどのような状態ですか。あてはまるもの1つに _____ を記入してください。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 大幅増加 (20%以上の増加) | 4. やや減少 (5%以上20%未満の減少) |
| 2. やや増加 (5%以上20%未満の増加) | 5. 大幅減少 (20%以上の減少) |
| 3. ほぼ横ばい (±5%未満) | |

(3) (2)で「1.大幅に増加」もしくは「2.やや増加」を選択された方におたずねします。売上高の増加の主な要因と考えられるものに3つ以内で _____ を記入してください。

- | | | |
|------------------|---------------------|----------------|
| 1. 新商品・新サービス等の開発 | 8. 景気変動 | 14. 事業拠点の海外展開 |
| 2. 技術革新 | 9. 物流の合理化 | 15. 震災の影響 |
| 3. 市場開拓 | 10. 商品・サービス等の内製化 | 16. 節電の取組による影響 |
| 4. 納期の短縮 | 11. 設備の新設、更新 | 17. その他 |
| 5. 事業の多角化 | 12. 同業他社の廃業 | [] |
| 6. 商品・サービス等の差別化 | 13. 少子化・高齢化等社会環境の変化 | |
| 7. 営業力の強化 | | |

(4) (2)で「4.やや減少」もしくは「5.大幅に減少」を選択された方におたずねします。売上高の減少の主な要因と考えられるものに3つ以内で _____ を記入してください。

- | | | |
|---------------------|-----------------|-----------------|
| 1. 新商品・新サービス等の開発の遅れ | 7. 親企業の移転 | 14. 情報化、IT活用の遅れ |
| 2. 技術力の遅れ | 8. 設備の老朽化 | 15. 広告宣伝活動の不足 |
| 3. 市場の縮小 | 9. 納品先からの値下げ要請 | 16. 震災の影響 |
| 4. 業務効率の低下 | 10. 仕入先からの値上げ要請 | 17. 節電の取組による影響 |
| 5. 競合激化 | 11. 発注企業の選別強化 | 18. その他 |
| 6. 景気変動 | 12. 営業力不足 | [] |
| | 13. 人材の高齢化 | |

(5) 3期前と比較した年間売上高の変化について、あてはまるもの1つに _____ を記入してください。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 大幅増加 (20%以上の増加) | 4. やや減少 (5%以上20%未満の減少) |
| 2. やや増加 (5%以上20%未満の増加) | 5. 大幅減少 (20%以上の減少) |
| 3. ほぼ横ばい (±5%未満) | |

(6) 直近の決算での売上高経常利益率 (経常利益額 ÷ 売上高) について、あてはまるもの1つに _____ を記入してください。(*他の事業所と区別できない場合は、企業単位で記入してください。)

- | | | |
|-------------|--------------|----------|
| 1. マイナス | 3. 2%以上4%未満 | 5. 10%以上 |
| 2. 0%以上2%未満 | 4. 4%以上10%未満 | |

(7) 直近の決算と3期前とを比べた経常損益の変化について、あてはまるもの1つに _____ を記入してください。(*他の事業所と区別できない場合は、企業単位で記入してください。)

- | | | |
|---------------|--------------|------------------|
| 1. 黒字を維持・拡大 | 3. 赤字から黒字に転換 | 5. 赤字だが損失額は縮小 |
| 2. 黒字だが利益額は減少 | 4. 黒字から赤字に転落 | 6. 引き続き赤字で損失額が拡大 |

(8) 過去3年以内に行った設備投資額 (店舗・事務所の新設・改装、設備の増設・更新等) の合計について、あてはまるもの1つに _____ を記入してください。

- | | | |
|--------------------|--------------------|----------------|
| 1. 1,000万円未満 | 3. 3,000~5,000万円未満 | 5. 1億円以上 |
| 2. 1,000~3,000万円未満 | 4. 5,000万円~1億円未満 | 6. 設備投資は行っていない |

(9) 従業員数の推移は現在（平成23年10月）と比べてどのような状態ですか。 から のそれぞれについて、あてはまるもの1つに を記入してください。

10年前（平成13年）より	（	1.	2.	3.	4.	5.	）
5年前（平成18年）より	（	1.	2.	3.	4.	5.	）
1年前（平成22年）より	（	1.	2.	3.	4.	5.	）

〔番号の説明〕

- 1.大幅に増加(20%以上増加) 2.やや増加(5%以上20%未満の増加) 3.横ばい(±5%)
 4.大幅に減少(20%以上減少) 5.やや減少(5%以上20%未満の減少)

(10)リーマンショック以降における経済の急速な悪化への対応について、あてはまるもの全てに を記入してください。

1. 公的融資制度の利用	7. 不採算部門から撤退	13. 管理部門の外部委託
2. 設備の稼働停止	8. 経営の多角化（新分野進出等）	14. 企業間連携（合併、協業、共同購入等）の強化
3. 人件費の削減	9. 従業員の再教育期間として活用	15. その他
4. 従業員の削減	10. ワークシェアリング	（
5. 経費節減	11. 雇用調整助成金の活用	）
6. 新たな販路開拓	12. 研究開発・企画の体制強化	16. 特になし

問3 取引関係について

(1) 営業、販売活動の対象は最終消費者ですか。あてはまるものに を記入してください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

↳「1.」に の場合は7ページ問3(5)へ進んでください。

(2) (1)で「2.いいえ」を選択された方におたずねします。主要販売先（納入先）上位3者の属性を以下の中から選び、あてはまる番号を（ ）に記入してください。

第1位（	第2位（	第3位（	
1. 製造業	5. 飲食業	9. 不動産業	13. その他
2. 卸売業	6. 建設業	10. 情報通信業	（
3. 小売業	7. 金融業・保険業	11. 官公庁	
4. サービス業	8. 運輸業	12. 大学、教育・研究機関	

(3) 売上高上位1社の販売先への売上依存度について、あてはまるもの1つに を記入してください。

1. 10%未満	3. 20%以上40%未満	5. 60%以上80%未満
2. 10%以上20%未満	4. 40%以上60%未満	6. 80%以上

(4) 貴社と主要販売先上位1社との関係について、あてはまるもの全てに を記入してください。

価格

1. 主として自社が決める	2. 主として得意先が決める	3. 交渉次第
---------------	----------------	---------

納期

1. 主として自社が決める	2. 主として得意先が決める	3. 交渉次第
---------------	----------------	---------

(5) 貴社（事業所）で販売、提供されている商品、サービス等の販売先（納入先）について、主な取引地域を上位3カ所（以内）選び、その地域のおおよその比率を次の表に記入してください。

地											
域	所在 市町内	大津 地域内	南部 地域内	甲賀 地域内	東近江 地域内	湖東 地域内	湖北 地域内	湖西 地域内	京都 大阪	その他 近畿	その他 地域
比率	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割

大津地域：大津市
 南部地域：草津市、守山市、栗東市、野洲市
 甲賀地域：湖南市、甲賀市
 東近江地域：近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町
 湖東地域：彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
 湖北地域：長浜市、米原市
 湖西地域：高島市
 その他近畿：兵庫県、奈良県、和歌山県

（記入例）

たとえば、貴社（事業所）における、ある年度の商品の販売額が1億円であったとします。その販売先が上位より 所在市町内で4,000万円、大津地域で2,500万円、湖西地域で1,000万円であった場合、 に4割、に2.5割、 に1割と記入してください。

(5)(6)についても同じ要領で記入してください。

なお、この比率は厳密なものではなく、おおよその数値を記入していただければ結構です。

(6) 貴社（事業所）で販売、提供されている商品、サービス等に必要な原材料・汎用部品、製品・商品の購入先（入手先）について、主な取引地域を上位3カ所（以内）選び、取引全体に占めるその地域のおおよその比率を次の表に記入してください。

地											
域	所在 市町内	大津 地域内	南部 地域内	甲賀 地域内	東近江 地域内	湖東 地域内	湖北 地域内	湖西 地域内	京都 大阪	その他 近畿	その他 地域
比率	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割

(7) 業務の外部委託や加工外注の利用（汎用品の購入・仕入は含まない。）の有無について、どちらかを選び、印をつけてください。

1.利用している	2.利用していない
----------	-----------

(7-1) (7)で「1.利用している」とご回答の場合、主な委託・外注先地域を上位3カ所（以内）選び、その地域およびその比率を次の表に記入してください。

地											
域	所在 市町内	大津 地域内	南部 地域内	甲賀 地域内	東近江 地域内	湖東 地域内	湖北 地域内	湖西 地域内	京都 大阪	その他 近畿	その他 地域
比率	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割	_____割

(8) 商品・サービス等の販売先（納入先）、商品・原材料(部品)の購入先(入手先)、委託・外注先として海外との取引がある場合（国内の商社等経由を含む）は、取引額上位3カ国(以内)の国名を（ ）に記入してください。

販売先（納入先）	1位（ ）	2位（ ）	3位（ ）
購入先（入手先）	1位（ ）	2位（ ）	3位（ ）
委託・外注先	1位（ ）	2位（ ）	3位（ ）

(8) 過去1年間の新規取引のきっかけについて、あてはまる番号を（ ）に記入してください。（多いものから順に3つ以内）

㊦販売先（納入先）	1位（ ）	2位（ ）	3位（ ）
㊧購入先（入手先）	1位（ ）	2位（ ）	3位（ ）
1.取引先からの紹介	6.展示会、マッチング会		
2.営業開拓	7.産業支援機関の紹介		
3.ホームページなどのネット関連	8.その他		
4.異業種交流	（ ）		
5.マスコミ等への露出から	9.過去1年間で新規取引先はない		

問4 研究開発について(新商品・新サービス等の企画・開発、新工法の研究等含む)

(1) 研究開発の取組状況、形態について、あてはまる番号全てに をしてください。

1. 自主開発 2. 共同開発 3. 委託 4. 行っていない

→「4.」に の場合は問5へ進んでください。

(2) 研究開発体制について、あてはまるもの1つに をし、人数を()に記入してください。

1. 社内に専門のセクションがある 専門セクションの人数()人
 2. 専門のセクションはないが専任担当者がある 専任担当者の人数()人
 3. 他のセクションの担当者が兼務している 兼務者の人数()人
 4. 担当者は常設しておらず必要に応じて対応している
 5. その他()

(3) 年間の研究開発費は売上高に比較してどの程度かけておられますか。

あてはまるもの1つに を記入してください。(売上高対比%)

1. 5%未満 3. 10~15%未満 5. 20%以上
 2. 5~10%未満 4. 15~20%未満 6. 特に計上していない

問5 産学官連携について

(1) 大学や公的機関との連携の実績および関心について、あてはまる番号をそれぞれ()に記入してください。

⑦大学との連携 ()	④公的機関との連携 ()
1. 現在、行っている 2. 現在、行っていないが、過去には行ったことがある 3. 行っていないが、関心がある (3a. 連携先を検討中 3b. 具体的には検討していない) 4. 行っておらず、関心もない	1. 現在、行っている 2. 現在、行っていないが、過去には行ったことがある 3. 行っていないが、関心がある (3a. 連携先を検討中 3b. 具体的には検討していない) 4. 行っておらず、関心もない

⑦と④の両方に「3a.」「3b.」「4.」を記入された場合は、9ページの問5(4)へ進んでください。

(2) (1)の「⑦大学との連携」、「④公的機関との連携」で「1.現在、行っている」または「2.現在、行っていないが、過去には行ったことがある」を選択された方におたずねします。

連携のきっかけについて、それぞれ主なものを1つ選択し、番号を()に記入してください。

⑦大学との連携 ()	④公的機関との連携 ()
1. 個人的な人脈を通じて 2. 大学、短大等を通じて 3. 取引先を通じて 4. 異業種等の交流会・研究会活動を通じて 5. 学会活動を通じて 6. 業界団体、組合等を通じて	7. 支援機関(商工会議所、商工会、中小企業団体中央会、滋賀県産業支援プラザ等)を通じて 8. 県(公設試験研究機関含む)、市町を通じて 9. その他 ()

連携の形態について、それぞれ主なものを1つ選択し、番号を()に記入してください。

⑦大学との連携 ()	④公的機関との連携 ()
1. 共同研究 3. 技術相談・指導 2. 委託研究 4. デザイン相談・指導	5. 依頼試験・検査 7. その他 6. 情報交流 ()

主な連携先大学について、 を記入してください。(複数選択可)

1. 滋賀大学	7. 立命館大学	13. 京都大学
2. 滋賀医科大学	8. 聖泉大学	14. 京都工芸繊維大学
3. 滋賀県立大学	9. 長浜バイオ大学	15. 同志社大学
4. 龍谷大学	10. びわこ学院大学	16. 京都産業大学
5. 成安造形大学	11. 滋賀短期大学	17. その他
6. びわこ成蹊スポーツ大学	12. 滋賀文教短期大学	()

主な連携先公的機関について、 を記入してください。(複数選択可)

1. 滋賀県工業技術総合センター(信楽窯業技術試験場を含む)	
2. 滋賀県東北部工業技術センター	3. その他()

(3) (1)「㊦大学との連携」、「㊧公的機関との連携」のいずれかで「1.現在、行っている」または「2.現在、行っていないが、過去には行ったことがある」を選択された方におたずねします。産学官連携活動を行った結果、成果がありましたか(現在行っている場合はその見込み)。成果があった場合は、そのレベルとしてあてはまるものをそれぞれ3つ以内で選択し、番号を()に記入してください。

㊦大学との連携 () () ()	㊧公的機関との連携 () () ()
1. 商品・サービス等の開発に成功した	5. 関連情報の入手が容易になった
2. 技術レベルの向上、ノウハウの蓄積につながった	6. その他
3. 社員の育成につながった	()
4. 人的ネットワークが広がった	7. 成果がなかった

(4) (1)「㊦大学との連携」、「㊧公的機関との連携」のいずれかで「3.行っていないが、関心がある」、「4.行っておらず、関心もない」を選択された方におたずねします。産学官連携活動を現在行っていない理由は何ですか。あてはまるものをそれぞれ3つ以内で選択し、番号を()に記入してください。

㊦大学との連携 () () ()	㊧公的機関との連携 () () ()
1. どこに行ったらいいかわからないから	6. 自社の技術を知られたくないから
2. 敷居が高いから	7. 必要性を感じないから
3. 成果が出るまでに時間がかかるから	8. どのような連携ができるのかわからないから
4. 費用がかかるから	9. その他
5. 求めている技術や研究内容と合致しなかったから	()

問6 企業間連携等(共同事業、異分野事業への進出、異業種交流、農商工連携等)について

(1) 他の企業等との連携の実績および関心について、あてはまるもの1つを選択し、番号を()に記入して下さい。

同業企業との連携	()	}
異分野、異業種企業との連携	()	
農林漁業者との連携	()	
その他()との連携	()	
1. 現在、行っている 2. 現在、行っていないが、過去には行ったことがある 3. 行っていないが、関心がある (3a. 連携先を検討中 3b. 具体的には検討していない) 4. 行っておらず、関心もない		

から の全てで「3a.」「3b.」「4.」のいずれかを記入された場合は、11ページの問6(6)へ進んでください。

(2) (1)で「1.現在、行っている」または「2.現在、行っていないが、過去には行ったことがある」を選択された方におたずねします。連携のきっかけについて、あてはまるもの1つを選択し、番号を()に記入して下さい。

同業企業との連携 ()	農林漁業者との連携 ()
異分野、異業種企業との連携 ()	その他の連携 ()
1. 個人的な人脈を通じて	7. 支援機関(商工会議所、商工会、中小企業団体中央会、滋賀県産業支援プラザ等)を通じて
2. 大学、短大等を通じて	8. 県(公設試験研究機関含む)、市町を通じて
3. 取引先を通じて	9. その他
4. 異業種等の交流会・研究会活動を通じて	()
5. 学会活動を通じて	
6. 業界団体、組合等を通じて	

(3) (1)で「1.現在、行っている」または「2.現在、行っていないが、過去には行ったことがある」を選択された方におたずねします。構成メンバーの所在地について、次の中からあてはまるもの全てに を記入してください。

同業企業との連携	1.同一市町内	2.県内	3.県外(主に)
異分野、異業種企業との連携	1.同一市町内	2.県内	3.県外(主に)
農林漁業者との連携	1.同一市町内	2.県内	3.県外(主に)
その他の連携	1.同一市町内	2.県内	3.県外(主に)

(4) (1)で「1.現在、行っている」または「2.現在、行っていないが、過去には行ったことがある」を選択された方におたずねします。そのグループや仲間では、どのような活動を行っていますか(行っていましたか)。また、どのような活動をしたいですか。あてはまるものを3つ以内で選択し、番号を()へ記入してください。

	これまでの活動	今後取り組みたい活動
同業企業との連携	()()()	()()()
異分野、異業種企業との連携	()()()	()()()
農林漁業者との連携	()()()	()()()
その他の連携	()()()	()()()
1. 新商品、新サービス等の共同研究・開発	7. 共同販売	
2. 新商品、新サービス等に関する情報交換	8. 共同での人材育成	
3. マーケットに関する情報交換	9. 共同でのイベント実施	
4. 共同受注	10. 共同P R	
5. 共同企画・設計・デザイン	11. その他	
6. 共同製造	()	

(4-1) (1)で「1.現在、行っている」または「2.現在、行っていないが、過去には行ったことがある」を選択された方におたずねします。そのグループや仲間による活動を通じて、成果がありましたか。成果があった場合は、そのレベルとしてあてはまるものを3つ以内で選択し、番号を()へ記入してください。

同業企業との連携 ()	農林漁業者との連携 ()
異分野、異業種企業との連携 ()	その他の連携 ()
1. 新商品・新サービス等の開発に成功した	5. 関連情報の入手が容易になった
2. 技術レベルの向上、ノウハウの蓄積につながった	6. その他
3. 社員の育成につながった	()
4. 人的ネットワークが広がった	7. 成果がなかった

- (5) (1)で「1.現在、行っている」または「2.現在、行っていないが、過去には行ったことがある」を選択された方におたずねします。企業連携（共同事業）を行う場合、どのような点が課題となっていますか。あてはまるものを3つ以内で選択し、番号を()へ記入してください。

同業企業との連携	()	()	()
異分野、異業種企業との連携	()	()	()
農林漁業者との連携	()	()	()
その他の連携	()	()	()
1. 活動資金の確保	4. 販路の開拓	7. 構成メンバー間の利害調整	
2. 活動に関わる人材の確保	5. 経営意識の多様性	8. その他	
3. 活動時間の確保	6. リーダー及び運営体制の確保	()	

- (6) (1)で「3.行っていないが、関心がある」、「4.行っておらず、関心もない」を選択された方におたずねします。企業連携等を現在行っていない主な理由は何ですか。あてはまるものを3つ以内で選択し、番号を()へ記入してください。

同業企業との連携	()	()	()
異分野、異業種企業との連携	()	()	()
農林漁業者との連携	()	()	()
その他の連携	()	()	()
1. どこに行ったらいいかわからないから	5. 自社の技術を知られたくないから		
2. 敷居が高いから	6. 必要性を感じないから		
3. 費用がかかるから	7. その他		
4. 求めているものと合致しなかったから	()		

問7 商工関係団体等での活動について

- (1) 加入されている（していた）団体について、あてはまるもの全てに を記入してください。

1. 商工会議所・商工会	
2. 同業者の団体（協同組合、任意団体等）	
3. 商店街振興組合、商店街組合（任意団体）等	
4. 滋賀経済同友会	
5. (社)滋賀経済産業協会	
6. 観光関係団体	
7. まちづくり協議会、自治会等地域のコミュニティ団体	
8. その他団体（主な団体名を3つ以内で記入してください）	
()	()
()	()
()	()
6. 加入したことはない	
(理由)	()

→「6.」に の場合は、12ページの問8へ進んでください。

- (2) (1)の団体での活動を通じて得られた効果について、次の中からあてはまるものに3つ以内で を記入してください。

1. 商品、サービス等の開発に成功した	7. 貴社（事業所）に対する地域住民の理解につながった
2. 技術レベルの向上、ノウハウの蓄積につながった	8. 従業員等が周辺住民と交流するきっかけとなった
3. 社員の育成につながった	9. その他
4. 人的ネットワークが広がった	[]
5. 関連情報の入手が容易になった	
6. 地域活動や社会貢献活動に積極的に取り組むようになった	

問 8 競争力向上に向けての取組みについて

(1) 貴社の主要な商品・サービス等に最もよくあてはまるライフサイクル上の段階について、あてはまるもの1つに を記入してください。

1. 開発・導入期	2. 成長期	3. 成熟期	4. 衰退期
-----------	--------	--------	--------

(2) 貴社が新規分野として取り組みたいと考える事業分野について、あてはまるもの全てに を記入してください。

1. 水環境ビジネス関連	8. 航空機・宇宙関連
2. 環境関連全般	9. スポーツ・健康・医療(介護分野含む)関連
3. 半導体関連	10. バイオ関連
4. 新エネルギー、省エネルギー関連	11. 農商工連携関連
5. デジタル家電関連	12. 観光、まちづくり、にぎわいづくり分野
6. ナノテクノロジー関連	13. その他()
7. ロボット関連	14. 特になし

問 9 海外への事業展開の状況

(1) 貴社は海外へ事業展開していますか。あてはまるものに をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

→「2.」に の場合は、問9(3)へ進んでください。

(2) (1)で「1.はい」を選択された方におたずねします。海外展開している国名、当該地域で展開した最初の年を()へ具体的に記入し、展開の形態としてあてはまる番号に を記入してください。(重要と考えている国3カ国以内)

国・地域	()	()	()	(中国)
当該地域に最初に展開した年	()年	()年	()年	(2009)年
機能と形態	本社機能	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.
	販売・営業部門	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 3.
	生産部門	1. 2. 3.	1. 2. 3.	2. 3.
	研究開発部門	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.
	サービス部門	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.
	工事・現地作業部門	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.
その他()	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.

〔展開の形態の番号 1. 2. 3.の説明〕

- 1. 拠点進出(合併を含む。)
- 2. 海外企業との業務提携(代理店契約、加工委託等)
- 3. その他()

〔記入例の説明〕

2009年から中国へ販売・営業部門と生産部門を順次展開し、販売・営業部門については拠点は置かず海外企業と代理店契約を締結し、生産部門については独自の拠点(合併を含む)を設置した場合の例。

(3) (1)で「2.いいえ」を選択された方におたずねします。今後5年以内に海外展開の意向はありますか。最も可能性が高いと考えるもの1つに を記入してください。

1. はい	海外展開の形態 a.海外企業との業務提携 b.拠点進出 c.その他()
2. いいえ	海外展開しない理由 ()
3. 未定	

「2.」「3.」のいずれかに を記入された場合は、13ページの問9(6)へ進んでください。

(4) (1)または(3)で「はい」を選択された方におたずねします。その海外展開（予定も含む）の理由について、あてはまるものに を記入してください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 優秀な技術者や労働者の活用 | 4. 親会社・発注先の進出に伴 |
| 2. 安価な技術者や労働者の活用 | 5. その他 |
| 3. 市場開拓 | () |

(5) (1)または(3)で「はい」を選択された方におたずねします。

今後の予定として、国内にはどの部門を残す予定ですか、あてはまるもの全てに を記入してください。

- | | | |
|------------|--------------|-------------|
| 1. 本社機能 | 4. 研究開発部門 | 7. その他 |
| 2. 販売・営業部門 | 5. サービス部門 | () |
| 3. 生産部門 | 6. 工事・現地作業部門 | 8. 国内には残さない |

(6) 海外展開にあたっての相談先について、あてはまるもの全てに を記入してください。

- | | | |
|---------|---------------|------------|
| 1. 取引先 | 4. コンサルタント | 7. その他 |
| 2. 金融機関 | 5. 県庁、市役所、町役場 | () |
| 3. 商社 | 6. 公的機関 () | 8. 相談していない |

問10 立地について

(1) 滋賀県内に立地している メリット、 デメリットについて、次の中からあてはまるものをそれぞれ3つ以内で選択し、番号を()に記入してください。

- | | | |
|---------------|----------------------|-------------|
| メリット()()() | デメリット()()() | |
| 1. 原材料の調達 | 8. 情報通信基盤 | 15. 情報の入手 |
| 2. 受注先との距離 | 9. 地下水の利用 | 16. 長年のつきあい |
| 3. 外注先との距離 | 10. 事業用地の確保 | 17. 道路交通事情 |
| 4. 地価、家賃 | 11. 従業員の確保 | 18. 地方税の負担 |
| 5. 公共交通機関の便 | 12. 豊かな自然環境 | 19. 他社との競合 |
| 6. 産業支援機関 | 13. 自然災害が少ない | 20. その他 |
| 7. 学術研究機関 | 14. 「滋賀」の地域のイメージ () | |

(2) 今後の事業の拠点について、どのようにお考えですか。あてはまるもの1つに を記入してください。

- | | | |
|---------------------|------------|-------------|
| 1. 現在地または県内で規模拡張する | 4. 県外に移転する | 7. 未定・分からない |
| 2. 現在地または県内で規模は現状維持 | 5. 業種転換の予定 | |
| 3. 現在地または県内で規模縮小する | 6. 廃業する | |

問11 後継者問題

(1) 後継者について、あてはまるもの1つに を記入してください。

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. 後継者は既に決まっている。(親族) | } |
| 2. 後継者は既に決まっている。(非親族) | |
| 3. 事業継承する予定だが、具体的には決まっていない。 | |
| 4. 事業継承したいが、後継者がいない。(課題となっている) | |
| 5. 事業継承については未定・分からない。 | |
- 「1.」「2.」「3.」のいずれかに を記入された場合は、14ページの問12へ進んでください。

(2) (1)で「4. 事業継承したいが、後継者がいない」もしくは「5. 事業継承については未定・分からない」を選択された方におたずねします。

今後の事業承継について、あてはまるもの1つに を記入してください。

- | | | |
|---------------------|---------|--------|
| 1. まだ、決める時期ではない | 3. 廃業する | 5. その他 |
| 2. 場合によっては第三者への事業譲渡 | 4. 転業する | () |

問12 人材の確保・育成

(1) 採用に関する課題について、あてはまるもの全てに を記入してください。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 優秀な新卒者の採用ができない | 5. 必要とする人材の数が確保できない |
| 2. 営業等の実務経験のある人が採用できない | 6. その他 |
| 3. 高度な技術知識を持つ人が採用できない | |
| 4. 必要とする技能を持つ人が採用できない | 7. 特になし |

(2) 貴社の人材の充実させたい能力について、あてはまるもの全てに を記入してください。

- | | | |
|--------------------|------------------|----------|
| 1. 新商品・新サービス等開発能力 | 8. 品質管理・検査の知識・技能 | 14. 営業力 |
| 2. デザイン力 | 9. 生産工程合理化能力 | 15. その他 |
| 3. 設計能力 (CAD の活用等) | 10. 保有技術の事業化能力 | |
| 4. 基本的機械操作能力 | (技術経営能力) | |
| 5. 高度熟練技能 | 11. 大学卒業程度の専門知識 | |
| 6. IT・情報処理スキル | 12. 統率力・リーダーシップ | |
| 7. 設備保全能力 | 13. マネジメント能力 | 16. 特になし |

(3) 貴社の人材育成の手法について、あてはまるもの全てに を記入してください。

- | | | |
|-----------------|--------------|--------------|
| 1. OJT (現場での指導) | 4. 業界団体主催の研修 | 7. 他社への派遣 |
| 2. 社内研修 | 5. 民間企業主催の研修 | 8. その他 |
| 3. 公的機関主催の研修 | 6. 自己啓発・自己研鑽 | 9. 特に何もしていない |

(4) 人材育成上の問題点について、あてはまるもの全てに を記入してください。

- | | | |
|----------------|---------------|----------|
| 1. 時間がとれない | 5. 技術の陳腐化 | 9. その他 |
| 2. 資金がない | 6. 人材が定着しない | |
| 3. 対象となる人材がいない | 7. 対象人材に意欲がない | |
| 4. 育成方法がわからない | 8. 必要性を感じない | 10. 特になし |

(5) 熟練従業員・技能者の退職 (技能継承の問題) への今後の貴社の対応について、あてはまるもの全てに を記入してください。

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| 1. 若手の訓練 | 4. 技能のマニュアル化 | 7. 教育訓練機関の活用 |
| 2. 雇用延長・再雇用 | 5. IT、機械等の活用 | 8. その他 |
| 3. 技能のある人材を中途採用 | 6. 知識のデータベース化 | 9. 何もしない・必要なし |

(5-1) (5)で1～8. を選択された方へおたずねします。対応の結果、熟練従業員・技能者の技能継承の問題はどうなると考えておられますか。あてはまるもの1つに を記入してください。

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 解決できる | 3. 解決できる見込みはない |
| 2. 概ね解決できる | 4. わからない |

問13 資金調達について

(1) 借入れする際の条件について、あてはまるもの全てに を記入してください。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 経営者の本人保証を提供 | 4. 公的信用保証を提供 |
| 2. 物的担保を提供 | 5. 1～4のいずれも提供していない |
| 3. 第三者保証 (公的信用保証を除く) を提供 | |

(2) 最近1年間の借入申込みについて、最も多かった対応はどれでしたか。あてはまるもの1つに を記入してください。

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 借入申込みを拒絶または申込額を減額 | 5. 申込額以上の貸付金額をメインバンクが提案 |
| 2. 借入条件は厳しくなったが申込額どおり借入れ | |
| 3. 借入条件の変更なしで申込額どおり借入れ | 6. 既存の融資の条件変更をした |
| 4. 借入条件は緩和され申込額どおり借入れ | 7. 最近1年間は借入申込を行っていない |

問14 東日本大震災(節電を含む)の業績への影響と対応策について

東日本大震災(節電を含む)の業績(利益)への影響と対応策について、次の から へ記入してください。

影響の有無 (1. 悪影響 2. 影響なし 3. 好影響 4. わからない) を1つ記入
理由・課題 ()
対応策(予定含む) ()

問15 B C P (事業継続計画) について

(1) 予期せぬ非常事態に対処するために事前に作成する行動計画を「BCP」といいますが、貴社(事業所)におけるBCPの作成状況について、あてはまるもの1つに を記入してください。

1. 作成済み 2. 作成中 3. 作成を検討中 4. 作成する予定なし 5. わからない

→ 問16へ

(2) (1) において「1. 作成済み」、「2. 作成中」、「3. 作成を検討中」を選択された方におたずねします。BCPを作成する上での課題について、あてはまるもの全てに を記入してください。

1. コスト負担増大 3. 人材不足 5. その他
2. 作成方法がよくわからない 4. 作成に時間がかかる ()

(3) (1) において「1. 作成済み」、「2. 作成中」、「3. 作成を検討中」を選択された方におたずねします。BCPの作成を必要と考えるようになった理由、時期について、あてはまるもの全てに を記入してください。

1. 取引先からの要請 (1a. 東日本大震災発生以前 1b. 東日本大震災発生以降)
2. 自発的な取組 (2a. 東日本大震災発生以前 2b. 東日本大震災発生以降)
3. その他()

問16 最近の円高による業績への影響と対応策について

最近の円高による業績(利益)への影響と対応策について、これまで(平成23年10月以前)の状況と 今後の見込みを記入してください。

これまでの状況 (1. 悪影響 2. 影響なし 3. 好影響 4. わからない) を1つ記入
⑦理由・課題()
⑧これまでの対応策()
今後の見込み (1. 悪影響 2. 影響なし 3. 好影響 4. わからない) を1つ記入
⑦理由・課題()
⑧今後の対応策()

問17 今後の経営について

(1) 今後3年程度を見据えて貴社が新たに取組む意向のあるものについて、あてはまるもの全てに を記入してください。

1. 経営戦略・経営方針の見直し 12. 新エネルギー、医療・健康、環境分野などの有力
2. 事業規模の拡大 成長分野への参入
3. 事業規模の縮小・撤退 13. 異業種への参入
4. 積極的な人材採用 14. ニッチ市場の開拓
5. 技能者の多能工化等スキル向上 15. 原材料、仕入先の見直し
6. 人員削減の推進 16. 職場環境の整備(5S活動等)
7. 後継者の確保 17. 公的支援制度の活用
8. M & Aの活用 18. 債務の削減
9. 新商品、新サービス等の開発 19. CSR、地域貢献
10. 設備の導入・更新 (具体的内容 :)
11. 作業工程の見直し 20. その他 ()

(2) 経営戦略、経営方針の立て方について、あてはまるものに を記入してください。

- | |
|---|
| 1. 経営者が独自に決定
2. 社内の企画部門やプロジェクトチームなどが原案をつくり、経営者が決定
3. 経営コンサルタント等専門家の意見をもとに経営者が決定
4. その他 ()
5. 必要と考えているが、どのように立てたらよいのかわからない
6. 不要 |
|---|

(3) 家訓、社是、社訓、経営理念等に相当するものはありますか。あてはまるものに を記入してください。

- | | | |
|----------------|-----------------------|-------|
| 1. 明文化されたものがある | 2. 明文化はされていないが口伝としてある | 3. ない |
|----------------|-----------------------|-------|

(4) (3)で「1.明文化されたものがある」、「2.明文化はされていないが口伝としてある」と答えられた方へお尋ねします。それはどのような内容でしょうか。具体的にお書きください。

(5) 近江商人の代表的な経営理念として、当事者の売り手と買い手だけでなく、その取引が社会全体の幸福につながるものでなければならないという意味での、「売り手よし、買い手よし、世間よし」という「三方よし」の精神が伝えられていますが、これについてどう考えますか。あてはまるもの1つに を記入してください。

- | | | | |
|-------------|------------|---------------|--------------|
| 1. 実践に努めている | 2. 意識している | 3. あまり意識していない | 4. 全く意識していない |
| 5. 知らなかった | 6. その他 () | | |

問18 公的支援制度の利用

滋賀県や国、市町、商工会議所、商工会、中小企業団体中央会、滋賀県産業支援プラザ等が実施している公的支援制度のうち、 これまでに利用したもの、および、 今後特に利用したいと考えるものについて、それぞれ次の中から選択し、番号を()に記入してください。

- | |
|--|
| これまでに利用したもの(全て選択)()
今後特に利用したいと考えるもの(1つ選択)() |
| 1. 金融支援(制度融資、債務保証等) 2. 補助金・助成金 3. 専門家相談、専門家派遣
4. 経営診断、経営分析 5. 研修会、交流会 6. 設備・機械の貸与・リース
7. その他 () |

問19 滋賀県の中小企業施策等に関するご要望、ご意見、その他貴社のPRなどご自由にお書きください。

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

滋賀県中小企業等実態調査 報告書

平成24年3月

編集・発行 滋賀県 商工観光労働部商工政策課

〒520-8577

大津市京町四丁目1番1号

TEL (077) 528-3712 / FAX (077) 528-4870

龍谷大学 龍谷エクステンションセンター (REC)

〒520-2194

大津市瀬田大江町横谷1-5

TEL (077) 543-7743 / FAX (077) 543-7771